

## 別紙様式 2 (シラバス見本)

授業科目名	データサイエンス・AI 入門	大学名	帝京大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期
学部・学科等	担当教員の学部・学科等を記入	曜日	オンライン(対面授業の実施日については、未定)
必修・選択区分	各大学等で決定される	時限(時間)	オンライン(対面授業の実施日については、未定)
標準対象年次	全学年	授業形態	オンライン(一部、対面で実施)
単位数	2 単位	授業会場	オンライン(対面授業の実施場所については、未定)
担当教員名	津村 健太		
電話番号(代表者名)	028-627-7120	e-mail アドレス	kyomu@riko.teikyo-u.ac.jp>
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p>&lt;授業の目標及びねらい&gt;  知識基盤社会においては、情報技術の進展に伴い、社会から得られる膨大なデータの利活用は、今後の情報社会の根幹をなすものです。そのためのデータサイエンス・AI に関する基礎的な知識とスキルは、学生が、今後の社会で活躍するために必要となる基礎的な素養です。</p> <p>この科目では、データサイエンス・AI が、社会生活と専門分野の中でどのように活用され、新しい価値を生んでいるのかについて理解できるようにします。また、データサイエンス・AI の基本的な技術や、それを活用する場合の留意事項、さらに、データリテラシーの基本についても学びます。</p> <p>&lt;前提とする知識・経験&gt;  特に必要としません。</p> <p>&lt;授業の具体的な進め方&gt;  15 回のうち 13 回は、Web 上のコンテンツを各自で学修する「非同期オンライン授業」を行います。残りの 2 回(第 8 回と第 15 回)は対面授業とします。対面授業の実施日時・場所は、後日、連絡します。</p> <p>&lt;授業計画&gt;</p> <p>第 1 回 ガイダンスとイントロダクション  第 2 回 データ・AI の活用領域、利活用の現場  第 3 回 社会で活用されているデータ  第 4 回 データ・AI 利活用のための技術  第 5 回 データ・AI の最新動向と専門領域への適用事例  第 6 回 データ・AI を扱う上での留意事項  第 7 回 データを守る上での留意事項  第 8 回 総合演習 1 (対面授業・グループワーク)  第 9 回 データの種類  第 10 回 データの分布と代表値  第 11 回 データのばらつきと誤差  第 12 回 データ収集の方法  第 13 回 相関と因果  第 14 回 データの可視化  第 15 回 総合演習 2 (対面授業)</p> <p>&lt;教科書・参考書・教材と入手方法&gt;  教科書は用いません</p> <p>&lt;成績評価法&gt;  ①各授業で課されるテスト (50%)  ②対面授業におけるレポート課題 (2 回分) (50%)</p> <p>&lt;教員からのメッセージ&gt;  数学や統計学などになじみのない人に向けた、基礎的な内容を取り扱います。</p>		